

2013 年度

老年看護学実習

介護老人福祉施設実習

[表紙 1]

【提出記録用紙】

- 1 実習評価表No. 1
- 2 実習評価表No. 2
- 3 実習記録
- 4 課題レポート

学生証番号： K F _____

学生氏名： _____

実習期間： _____ 月 _____ 日 ~ _____ 月 _____ 日

実習施設名： _____

担当教員名： _____

指導者名： _____

看護学科 3 年 専門教育科目

2013 年度

老年看護学実習

介護老人福祉施設実習

[表紙2]

【提出記録用紙】

1 プロセスレコード

学生証番号： K F _____

学生氏名： _____

実習期間： _____ 月 _____ 日 ~ _____ 月 _____ 日

実習施設名： _____

担当教員名： _____

指導者名： _____

看護学科3年 専門教育科目

授業科目名：老年看護学実習

単位／時間：4単位／180時間（1単位／45時間：介護老人福祉施設実習）

対象／開講：11KF／通年

担当教員：鈴木 陽子、飯室 淳子、後藤 雪絵

老年期にある対象の理解と自立した生活を支援するための看護の役割を理解する。
実習は、介護老人福祉施設および病院において行う。

介護老人福祉施設実習

【目的】介護老人福祉施設における高齢者の特徴と高齢者を支援する職種間の協働・連携について理解することができる。

目標1 施設の概要と老人福祉法・介護保険法との関係を確認することができる。

目標2 高齢者と関わり得られた情報から、高齢者の生き甲斐・QOLを支えることの重要性について再確認することができる。

目標3 高齢者の個別性、多様性を尊重した援助の必要性と方法を再確認することができる。

目標4 施設における各職種の役割と職種間の協働・連携の重要性を認識することができる。

目標5 自己の老年観・人生観・看護観を確認することができる。

<p>I. 介護老人福祉施設実習 実習目的</p> <p>介護老人福祉施設における高齢者の特徴と高齢者を支援する職種間の協働・連携について理解することができる。</p>
<p>目 標 1 施設の概要と老人福祉法・介護保険法との関係を確認することができる。</p>
<p>行 動 目 標</p>
<p>1) 実習施設の理念・目的、事業概要、施設の構造について述べるができる。</p> <p>2) 施設の概要と老人福祉法、介護保険法との関係性を述べるができる。</p>
<p>目 標 2 高齢者と関わり得られた情報から、高齢者の生き甲斐・QOLを支えることの重要性について再確認することができる。</p>
<p>行 動 目 標</p>
<p>1) 高齢者の生活史に触れるために有効なコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>2) 高齢者のこれまでの人生に理解と共感を示すことができる。</p>
<p>目 標 3 高齢者の個別性、多様性を尊重した援助の必要性と方法を再確認することができる。</p>
<p>行 動 目 標</p>
<p>1) 高齢者の健康レベル・自立度に応じた日常生活行動の援助過程に参加することができる。</p> <p>(1) 健康状態の観察とケアに参加することができる。</p> <p>(2) 食事の援助に参加することができる。</p> <p>(3) 入浴の援助に参加することができる。</p> <p>(4) 排泄の援助に参加することができる。</p> <p>(5) レクリエーション・クラブ活動に参加することができる。</p> <p>(6) リハビリテーションに参加することができる。</p> <p>2) 高齢者の自立と依存のバランス、「できる」ことを考えて支援する重要性に気づくことができる。</p>
<p>目 標 4 施設における各職種の役割と職種間の協働・連携の重要性を認識することができる。</p>
<p>行 動 目 標</p>
<p>1) 施設における看護師の役割を述べるができる。</p> <p>2) 各職種の業務内容と連携の必要性について述べるができる。</p> <p>3) 施設職員と高齢者・家族・重要他者との情報交換、連携の必要性を述べるができる。</p>
<p>目 標 5 自己の老年観・人生観・看護観を確認することができる。</p>
<p>行 動 目 標</p>
<p>1) 高齢者との関わりを通して高齢者に対する思い、考えについて述べるができる。</p> <p>2) 「若い・老いること」について自己の考えを述べるができる。</p> <p>3) 療養病院実習に向けての課題を明らかにすることができる。</p>

II. 実習期間および実習時間

1. 実習期間 2013年5月13日(月)～10月12日(土)の1週間

2. 実習時間

平塚特別養護老人ホーム・泉心荘・高根台ホーム：〔特養〕9時00分～17時00分

〔デイサービス〕8時30分～17時00分

伊勢原ホーム：〔特養〕〔デイサービス〕9時00分～17時00分

らんの里：〔特養〕〔デイサービス〕8時30分～16時30分

III. 実習施設および実習指導者

1. 社会福祉法人 伸生会

〔特養〕 平塚特別養護老人ホーム

〔デイサービス〕伸生会デイケアセンター

平塚市御殿2丁目17-42 TEL. 0463-35-3440(直通)

理事長 大畑直裕 施設長 石田保 副施設長 大畑直 生活主任相談員 鈴木彰司

生活相談員 大野雅史

実習指導者 副主任ワーカー 長谷川久美 副主任ワーカー 坂本賢

2. 社会福祉法人 泉心会

〔特養〕 高齢者総合支援センター 泉心荘

〔デイサービス〕高齢者総合支援センター 泉心荘

伊勢原市三ノ宮511-1 TEL. 0463-92-6722(代表)

理事長 小泉隆一郎 施設福祉一課長 清水正彦

3. 社会福祉法人 大六福祉会

〔特養〕 特別養護老人ホーム 伊勢原ホーム

〔デイサービス〕だいろく介護支援センター

伊勢原市子易1254-4 TEL. 0463-93-5521(代表)

理事長 大津智代江 介護主任 守屋由美 主任介護支援専門員 齊藤典元

4. 社会福祉法人 松友会

〔特養〕 介護老人福祉施設 らんの里

〔デイサービス〕高齢者生活支援センター らんの里

伊勢原市沼目6丁目1257 TEL. 0463-97-2002(代表)

施設長 上田慎子 介護・看護部長 池田佳子 課長代理看護師 小椋由美子

5. 社会福祉法人 研水会

〔特養〕 介護老人福祉施設 高根台ホーム

〔デイサービス〕平塚市万田デイサービスセンター

平塚市万田888番地1 TEL. 0463-31-4972(代表)

施設長 鍵和田 崇敬 統括事業部長 渡辺友則 統括事業課長 永田菊代

IV. 学習方法

1. 実習施設のオリエンテーション・施設見学（現地集合・解散）

- 1) 日時：2013年4月25日（木） 10時00分～11時30分
- 2) 内容：施設の概要、施設見学、実習に向けての諸注意など
- 3) 服装
 - (1) スーツ着用（色は黒か紺系）、名札をつける。
 - (2) 髪は束ねる。マニキュア・アクセサリー・香水等は禁止。
 - (3) ナースシューズを持参する。

2. 事前学習

- 1) 教科書を用いて復習する。
- 2) 老人福祉・老人保健・老人医療の現状を、「国民衛生の動向」「国民の福祉の動向」等の最新版を用いて確認する。
- 3) 介護保険法についての要点をまとめる。
- 4) 高齢者の心身・社会的な特徴および看護の基本原則について復習する。
- 5) バイタルサイン測定及び食事、移動、排泄等の基本看護技術を提供できるよう練習しておく。
- 6) 認知症高齢者の看護の基本について復習する。
- 7) 既習看護実習の課題を明確にし、達成方法を計画する。

3. 実習目的・目標、自己の課題にそった活動

実習スケジュール（例）

曜日	学生A	学生B	学生C	学生D	学生E
月	デイサービス	医務室	特養（一般・重度）	特養（一般・重度）	デイサービス
火	特養（一般・重度）	デイサービス	医務室	特養（一般・重度）	医務室
水	特養（一般・重度）	特養（一般・重度）	デイサービス	医務室	特養（一般・重度）
木	医務室	特養（一般・重度）	特養（一般・重度）	デイサービス	特養（一般・重度）
金	学内カンファレンス	学内カンファレンス	学内カンファレンス	学内カンファレンス	学内カンファレンス

- (1) 短期入所サービスについては特養で体験する。
- (2) 学生は始業時に担当の職員の紹介を受け、自分の実習計画を伝え活動に参加する。
- (3) 受け持ち制による実習形態ではないが、利用者の個別的な理解を深めながら援助過程に参加する。
- (4) 学生はできるだけ多くの利用者に触れ合うよう積極的に行動する。
- (5) 学生の昼食のための休憩は、その日のスケジュールに応じて1時間とる。

4. カンファレンス

1) 実習施設

- (1) 16時頃からカンファレンスを計画し、学習体験を共有する。(1時間以内)
- (2) 特に最終日は指導者の出席を得て、疑問等の解決を支援して頂く。

2) 学内

- (1) 学内カンファレンスは各施設の特徴および実習目標達成のための共有の場とする。
- (2) 場所：事前に掲示する。
- (3) 時間：実習最終日9時00分～12時35分
午後はレポートのまとめと病院実習の事前学習とする。

5. 事故発生時の対処

- 1) 事故が発生した場合はすぐ指導者に報告する。
- 2) 必ず担当教員に電話連絡する。
- 3) ヒヤリ・ハット報告を記載し提出する。(実習要綱総説参照)

V. 実習記録と提出方法

1. 実習記録

1) 老年看護学実習記録

- (1) 実習目標は具体的に記述する。
- (2) 看護実践と振り返りは、目標に沿って場面・状況をできるだけ具体的に記述する。
(必要に応じてプロセスレコードを活用する。)
- (3) 記録類は、カンファレンス終了後に記述する。
- (4) 実習記録は翌朝、指導者に提出する。

2) レポート

- (1) 課題「高齢者と高齢者を支える人々から学んだこと」
- (2) 用紙サイズはA4(縦置き)、表紙をつけ、内容は2000字相当にまとめる。文末に活用した文献を明示する。手書き(ペン書き)・PC使用いずれでも可。
- (3) 表紙には、左上に科目名・担当教員名・実習指導者名、中央にテーマ、右下に提出年月日・学生証番号・氏名を記載する。

2. 提出物(1)～(4)を綴じ紐で綴じて提出する)

- 1) 評価表
- 2) 実習計画表
- 3) 介護老人福祉施設実習記録(プロセスレコードを含む。)
- 4) 課題レポート
- 5) 出席表(リーダーは毎朝出席表を提出し指導者の捺印を受ける。)

VI. 単位および実習評価

1. 1単位(1週間)

2. 東海大学医療技術短期大学看護学実習に関する細則の規定により実習評価は、実習日数の3分の2以上出席した者を対象とする。
3. 行動目標に基づき達成度を評価し、実習評価表に記載する。
4. 出席日数、介護老人福祉施設実習記録、課題レポート、自己評価などにより総合的に評価する。
5. 介護老人福祉施設実習(1単位)の評価は、目標達成度により可否で判定を行う。

Ⅶ. 服装など実習時のマナー

1. 服装、身だしなみなど

1) 通学時

- (1) スーツに準じた服装とする。
- (2) 髪は束ねて、アクセサリ・香水・整髪料などはつけない。

2) 実習時

- (1) 上着：トレーナー、ポロシャツ、Tシャツなど
(フード付き・襟元が広く開いたシャツ・丈の短いシャツは禁)
- (2) ズボン：長ズボン、ジャージなど（ジーパン、半ズボンは禁)
- (3) シャツの着替え、汗拭きタオル、冬季は防寒上着
- (4) 上履き：ナースシューズ 外出用：スニーカー
- (5) エプロン2枚（1枚は食事介助用）：約15cm×20cmの白い布に学校名、氏名、ふりがなを大きく読みやすく書き、エプロンの胸に縫いつける。
- (6) 学生証

2. 実習時のマナー

- 1) 生活の場に訪問しているという自覚をもって、礼儀正しく振る舞う。
- 2) あいさつを忘れない。
- 3) 言葉遣いに留意し、利用者および職員に対して尊重した態度で接する。

Ⅷ. 教員の指導体制と連絡先

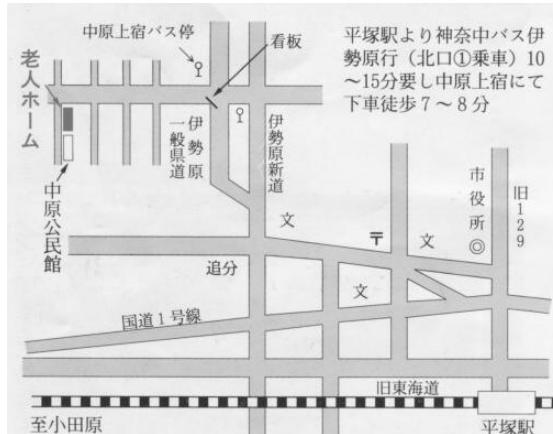
- 1. 実習指導のため実習施設に1回は出向く。実習指導予定はファックスで実習指導者に連絡しておく。
- 2. 教員への連絡は医療技術短期大学（事務室） 0463-58-1211(内線5413)

Ⅸ. 諸注意事項

- 1. やむなく欠席・遅刻・早退するときは実習指導者及び担当教員に連絡する。
- 2. 実習開始時に体調がすぐれない学生は、事前に実習指導者に報告をする。
- 3. 援助の実施は必ず指導者あるいはスタッフと共に行い、単独で実施しない。
- 4. 援助の前後には必ず指導者あるいはスタッフに報告を行う。
- 5. 常に「報告・連絡・相談」を心掛ける。
- 6. 実習施設の共有場（トイレ・洗面所、更衣室、休憩室、カンファレンス室など）は常に整理・整頓し、清潔に使用する。

X. 実習施設への交通手段

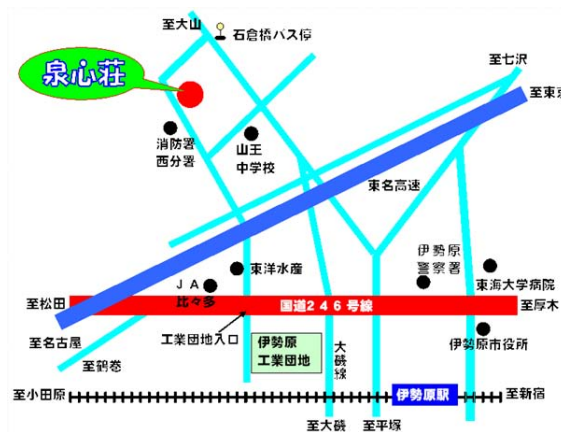
1. 社会福祉法人 伸生会 平塚特別養護老人ホーム・伸生会デイケアセンター



伊勢原駅南口神奈中バス①番線

「団地経由 平塚駅ゆき」乗車（所要時間20分）「中原上宿」下車 徒歩7分

2. 社会福祉法人 泉心会 高齢者総合支援センター 泉心荘



伊勢原駅北口神奈中バス④番線

「大山ケーブルゆき」乗車（所要時間15分）「道灌塚前」または「石倉橋」下車 徒歩5分

3. 社会福祉法人 大六福祉会 特別養護老人ホーム 伊勢原ホーム・だいろく介護支援センター



伊勢原駅北口神奈中バス④番線

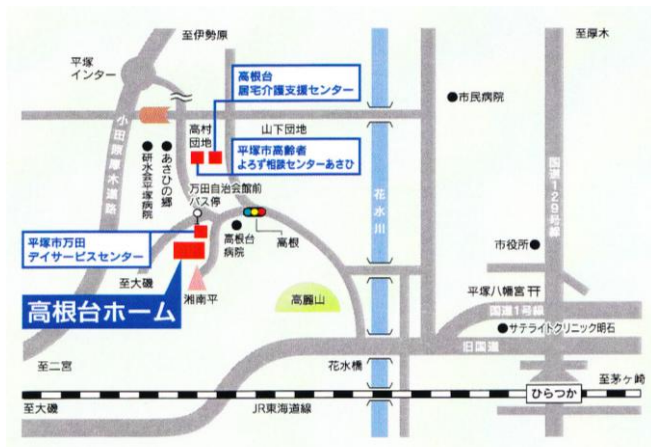
「大山ケーブルゆき」乗車（所要時間20分）「子易」下車 徒歩3分

4. 社会福祉法人 松友会 指定介護老人福祉施設らんの里



伊勢原駅南口神奈中バス③番線「太田經由平塚ゆき」または「城島經由平塚ゆき」、
 「下落合經由愛甲石田駅ゆき」乗車（所要時間10分）「沼目」下車 徒歩10分
 伊勢原駅南口神奈中バス③番線「平間經由平塚北口ゆき」乗車、「東沼目」下車 徒歩5分

5. 社会福祉法人 研水会 高根台ホーム・平塚市万田デイサービスセンター



平塚駅北口神奈中バス③番線「上寺坂經由松岩寺ゆき」または「山下經由二宮駅ゆき」乗車
 （所要時間16分）「万田自治会館前」下車 徒歩5分
 伊勢原駅南口神奈中バス①番線「高村団地（みどりヶ丘、日向岡経由）ゆき」乗車
 （所要時間33分）「高村団地」下車 徒歩15～20分

老年看護学 介護老人福祉施設 実習評価表	学生証番号 氏 名	実習期間 実習場所	
		学 生 自 己 評 価	
目 標	行 動 目 標	よ い	要 努 力 自己評価の根拠
1 施設の概要と老人福祉法・介護保険法の関係を確認することができる。	1) 実習施設の理念・目的・事業概要、施設の構造について述べるができる。 2) 施設の概要と老人福祉法、介護保険法との関係性を述べるができる。	_____ _____	
2 高齢者と関わり得られた情報から、高齢者の生き甲斐・QOLを支えることの重要性について再確認することができる。	1) 高齢者の生活史に触れるために有効なコミュニケーションを図ることができる。 2) 高齢者のこれまでの人生に理解と共感を示すことができる。	_____ _____	
3 高齢者の個別性、多様性を尊重した援助の必要性と方法を再確認することができる。	1) 高齢者の健康レベル・自立度に応じた日常生活行動の援助過程に参加することができる。 2) 高齢者の自立と依存のバランス、「できる」ことを考えて支援する重要性に気づくことができる。	_____ _____	
4 施設における各職種の役割と職種間の協働・連携の重要性を認識することができる。	1) 施設における看護師の役割を述べるができる。 2) 各職種の業務内容と連携の必要性について述べるができる。 3) 施設職員と高齢者・家族・重要他者との情報交換、連携の必要性を述べるができる。	_____ _____ _____	
5 自己の老年観・人生観・看護観を確認することができる。	1) 高齢者との関わりを通して高齢者に対する思い、考えについて述べるができる。 2) 「古い・老いること」について自己の考えを述べるができる。 3) 療養病院実習に向けての課題を明らかにすることができる。	_____ _____ _____	

学生証番号・氏名											
項目	内 容		自己評価			項目	内 容		自己評価		
			よ い	ふ つ う	要 努 力				よ い	ふ つ う	要 努 力
学習方法の習得	実習計画	週間および日々の実習目標の設定	_____			実習に臨むための準備	実習に対する関心・問題意識・課題	_____			
		実行可能な具体的な計画の立案	_____				実習目的・目標・実習方法の理解と確認	_____			
		他者の理解と協力が得られる方法	_____				ケアに必要な知識・技術の予習・復習	_____			
			_____				日常生活の調整と健康管理	_____			
		日々の援助体験からの気づきとその活用（学び・疑問・今後の課題）	_____			学習態度	自主的・積極的な課題への取り組み	_____			
		カンファレンスにおける役割遂行	_____				主体的で謙虚な助言の受け止め方	_____			
		文献の活用（文献検索・文献内容の理解・自己学習への活用）	_____				相互の学習の共有	_____			
		課題レポートの内容・まとめ方・文献の活用	_____				他者との協調	_____			
			_____				学習者としての義務と責任	_____			
			_____				学習における充実感	_____			
出席日数		欠席日数		遅刻		早退					
自己評価	学生署名							目標達成度（自己評価）			
								A：よい B：ふつう C：要努力			
指導者助言	指導者署名							評 価			
教員助言								教員署名			

老年看護学実習記録

月 日() 学生証番号・氏名

実習施設・実習場所	指導者氏名
本日の実習目標	
行動計画	
8—	13—
9—	14—
10—	15—
11—	16—
12—	17—
看護実践と振り返り	

看護実践と振り返り

指導者印